

参考文献

(ABC 順)

- [1] エコノミスト編集部編『対決する二つの経済学: 近代経済学かマルクス経済学か』
毎日新聞社, 1958年
- [2] 伊藤誠『資本主義経済の理論』岩波書店, 1989年
- [3] 伊藤誠・野口眞・横川信治編著『マルクスの逆襲: 政治経済学の復活』日本評論
社, 1996年
- [4] 伊東光晴『現代に生きるケインズ』岩波新書, 2006年
- [5] 角田修一編『社会経済学入門』大月書店, 2003年
- [6] 菊本義治・佐藤真人・中谷武・佐藤良一『マクロ経済学』勁草書房, 1999年
- [7] 根岸隆・山口重克編『二つの経済学: 対立から対話へ』東大出版会, 1984年
- [8] 置塩信雄『蓄積論(第2版)』筑摩書房, 1976年
- [9] 置塩信雄『資本制経済の基礎理論(増訂版)』創文社, 1978年
- [10] 置塩信雄『経済学はいま何を考えているか』大月書店, 1993年
- [11] 置塩信雄『経済学と現代の諸問題』大月書店, 2004年
- [12] 置塩信雄編『景気循環』青木書店, 1988年
- [13] 置塩信雄・鶴田満彦・米田康彦『経済学』大月書店, 1988年
- [14] 大野節夫『社会経済学』大月書店, 1998年
- [15] 大谷禎之助『図解社会経済学』桜井書店, 2001年
- [16] 佐藤良一「US ラディカル派と新古典派」伊藤誠・野口眞・横川信治編著『マ
ルクスの逆襲: 政治経済学の復活』日本評論社, 1996年
- [17] 佐藤良一「ケイザイガクって, なんなの」『法政通信』2000年11月
- [18] 佐藤良一編『市場経済の神話とその変革』法政大学出版局, 2003年
- [19] 佐和隆光『資本主義の再定義』岩波書店, 1995年
- [20] 内橋克人『もうひとつの日本は可能だ』文春文庫, 2006年
- [21] 内橋克人編『経済学は誰のためにあるのか: 市場原理至上主義批判』岩波書
店, 1997年
- [22] 植村博恭・磯谷明德・海老塚明『社会経済システムの制度分析: マルクスとケ

- インズを超えて』名古屋大学出版会，1998年
- [23] 宇仁宏幸・坂口明義・遠山弘徳・鍋島直樹『入門社会経済学:資本主義を理解する』ナカニシア出版，2004年
- [24] 八木紀一郎『社会経済学:資本主義を知る』名古屋大学出版会，2006年
- [25] 八木紀一郎・宇仁宏幸『図解雑学 資本主義のしくみ』ナツメ社，2003年
- [26] Bowles, S. , *Microeconomics: Behavior, Institutions, and Evolution*, Princeton University Press, 2004.
- [27] Chavance B. *L'Economie Institutionnelle*, La Decouverte, 2007. (宇仁宏幸・中原隆幸・斎藤日出治『入門 制度経済学』ナカニシア出版，2007年)
- [28] Goodwin, N., Julie A. Nelson, F. Ackerman and T. Weiskopf, *microeconomics in context*, Houghton Mifflin Company, 2005.
- [29] Hahnel, R., *The ABCs of Political Economy: A Modern Approach*, Pluto Press, 2002.
- [30] Himmelweit, S., R.Simonetti and A.Trigg , *Microeconomics: Neoclassical and Institutional Perspectives on Economic Behavior*, Thomson, 2001.
- [31] Wolff, R.D. and S. A. Resnick, *Economics : Marxian versus neoclassical*, Baltimore : Johns Hopkins University Press , 1987. (平井規之・滝田和夫訳)『二つの経済学：マルクス主義対新古典派』青木書店，1991年)

* * *